

# スエニヨチ

版 コ ス ネ シ

109日 大雪山 - 109日

(本編上へ追加)

自衛隊が初優勝 - 大川 ~ 札幌 駒込 - 123日

No. 442 37.7. 6

本編同い

梅雨のつらさ - 石島 - 90日 (本編上へ追加)

注目される元大リーグ

名古屋

ニューカム選手につづいて元大リーグのドビー選手がこのほどドラゴンズに加わりました。ニューカムがドジャースの強打者ならドビーは、インディアンスきつてのスラッガーでした。ニューカムの参加によってチーム内が明るくなったといわれるように、ドビーも早速若手のコーチをするなど、チームにとけこみ選手を力づけています。まじめなプレーと誠実なマナーが大リーグの面目といわれ、二人の大物の活躍が大いに注目されています。

### 三、新分野きまる

参議院選挙

七月一日におこなわれた参議院選挙は、自治省が「投票狩り出し運動」に十億円の巨額な費用をかけただけあって、全国平均の投票率は六八・二パーセントと戦後二番目の好成绩を収めました。

開票と同時に、自民党は高級官僚やテレビの人気者をつぎ出した作戦が図に当って、六九名の当選者を出しました。一方、社会党は組織に頼り過ぎたのがアタとなつて、改選前を一名だけ上廻る三七議席を確保しただけでした。だが第三政党の確立を目指した民社党は四名しか当選出来ず、全くの惨敗。小政党へと転落しました。これに反して、九名全員当選のなつた創価学会は参議院の第三勢力に進出し、「公明会」なる院内団体を結成しました。

ともあれ、国民の審判の下つた今日、より良き国政を期待したいものです。

### アイモ風土記

### 四、伊予の商人

愛媛

お中元シーズンを迎えて、商人は不景気風なそこど吹く風とたくましい商魂をくりひろげている。その中で最近めきめきと伸びてきたのが月賦百貨店その数は全国で二、〇〇〇軒にも達し、その九〇%が四国は伊予の出身者なのである。四国はいずれも農業が中心となり、林業、水産、又在来工業などがそれに続いている。これは四国が余りにも海上交通に恵まれていた関係上、勢い陸上交通の発達をさまたげることにもなりそれが今日四国の改進黨といわれる最大の原因ともなつている。こうした中で四国の伊予が生んだ生活の手段は、かつて伊予の水軍とうたわれた海運を背景に在来工業品を県外で商う。つまり、行商といふことであつた。もとよりこの地は伊予の水軍、即ち伊予の海賊衆が支配してきた土地更に阿波の鳴門と並び称される半島の「うず潮」にきたえられた屈強の精神が彼らを支えてきたのである。そして伊予の人間が受けついできた海賊精神は、資本主義の中にあつて着々と築き上げ、その昔、腕船と呼ばれる行商に端を発した彼らの商いが今日の月賦百貨店という地位を築くに至つたのである。

道新 10/192  
高知新 10/277  
新愛媛 10/105  
山口新 10/118